

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月7日

TANAKEN 株式会社

(東証スタンダード:1450)

目次

1 会社概要 2

2 2026年3月期 第2四半期実績 6

3 2026年3月期 計画及び進捗状況 14



1 会社概要

(会社概要・企業理念・経営理念/特徴/ビジネスモデル)

2

2 2026年3月期 第2四半期実績

6

3 2026年3月期 計画及び進捗状況

14



会社概要

人にやさしい環境をつくる。解体の **TANAKEN**

会 社 名	T A N A K E N株式会社（2025年4月社名変更）
設 立	1982年 2 月 3 日
所 在 地	東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
代 表 者	代表取締役社長 中尾 安志
資 本 金	297,156千円
従 業 員 数	103名（2025年 9 月末）
主 要 株 主	スリーハンドレッドホールディングス株式会社 59.5%（創業者 田中俊昭の資産管理会社）
事 業 内 容	建築構造物解体工事の施工及び施工管理

TANAKEN マスコットキャラクター

タナケンくん



企業理念

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、明日のために今日できることを実行し、社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。

経営理念

TANAKENは、「思いやり・信頼・感謝」というキーワードを経営理念として大切にします。

当社の特徴



建築構造物の解体に関する工事を

ワンストップで
受注・施工が可能



解体工事は協力会社が行い、当社は

施工管理、安全管理、
近隣サポートに集中



施工管理に徹した

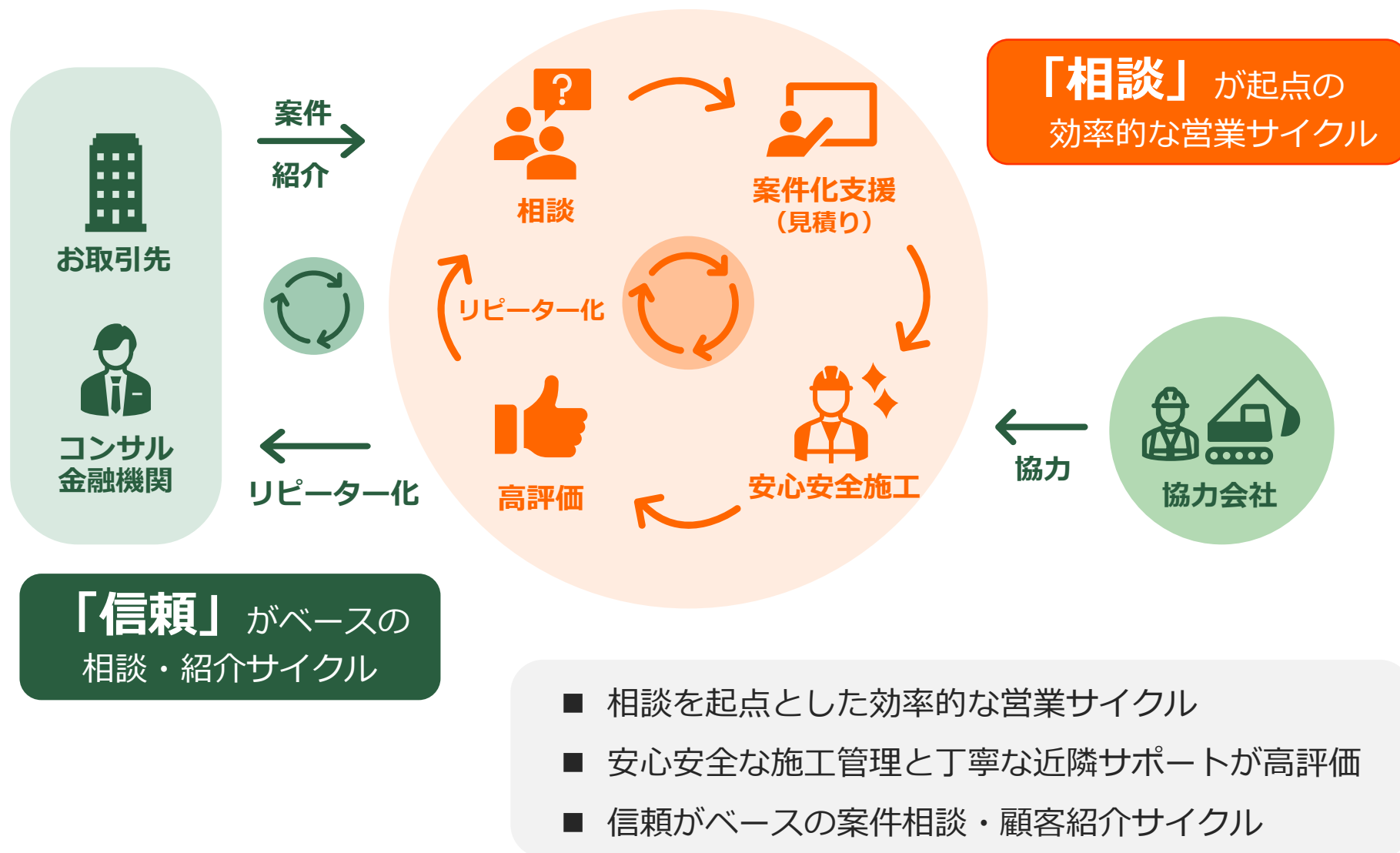
「持たざる経営」により
高い経営効率を実現

長年にわたり安心安全な施工管理を積み重ね、

収益性と安全性を兼ね備えたビジネスモデルを構築



ビジネスモデル



1 会社概要

2

2 2026年3月期 第2四半期実績

(損益実績/財務状況/受注状況/ストック残高/主要計数)

6

3 2026年3月期 計画及び進捗状況

15



2026/3期 第2四半期 損益実績（累計）

- 堅調な受注環境を背景に売上高は増収基調。計画進捗率48.1%と概ね順調推移。
- 前年同期は難易度の高い大型工事の影響により高利益率であったため、前年同期比で減益となったが、計画進捗率50%超、利益率も計画を上回る水準を確保。

（金額単位：百万円）

	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年 同期比	26/3期 計画	計画 進捗率
売上高	4,401	5,639	6,734	+1,095	14,000	48.1%
売上総利益	964	1,527	1,402	▲ 125	—	—
（率）	21.9 %	27.1 %	20.8 %	▲6.3 p	—	—
販売費及び一般管理費	437	437	498	+61	—	—
営業利益	526	1,089	903	▲ 186	1,700	53.1%
（率）	12.0 %	19.3 %	13.4 %	▲5.9 p	12.1 %	—
経常利益	548	1,094	917	▲ 177	1,750	52.4%
（率）	12.5 %	19.4 %	13.6 %	▲5.8 p	12.5 %	—
当期純利益	328	681	573	▲ 108	1,200	47.8%

2026/3期 第2四半期 財務状況

- 大型の元請工事受注に伴う資金負担増加により現預金は減少したが、有利子負債無く自己資本比率77%と良好な財務内容を維持。
- 資金調達に余力あり（既存借入枠40億円）、大型元請工事への対応力を確保。

（金額単位：百万円）

	25/3期	26/3期2Q	前期末比	備考
流動資産	9,949	9,367	▲ 582	
うち現預金	4,116	2,814	▲ 1,302	
うち完成工事未収入金	5,457	6,273	+816	
固定資産	1,433	1,453	+20	
流動負債	3,044	2,304	▲ 740	未成工事受入金▲388
うち有利子負債	—	—	—	借入枠の利用なし
固定負債	115	151	+36	
純資産	8,223	8,366	+143	
総資産	11,383	10,821	▲ 562	
自己資本比率	72.2 %	77.3 %	+5.1 p	
ネットキャッシュ	4,116	2,814	▲ 1,302	

2026/3期 第2四半期 受注状況

- 堅調な受注環境を背景に、受注状況は好調。下期も順調に推移する見通し。
- 工期が1年超になる大型工事案件も増加傾向にあり、受注高と工期のバランスをコントロールしながら更なる受注積み上げを図っていく。

(金額単位：百万円)

	24/3期 2Q累計	24/3期 通期実績	25/3期 2Q累計	25/3期 通期実績	26/3期 2Q累計	前年 2Q比
前期繰越受注高	5,381	5,381	7,069	7,069	8,160	+1,091
当期受注高	6,024	12,364	8,002	13,376	7,460	▲ 542
当期完工高	4,401	10,676	5,639	12,286	6,734	+1,095
当期繰越受注高	7,004	7,069	9,431	8,160	8,885	▲ 546

ビジネスモデルの強化（フロービジネスのストックビジネス化）

- 安心安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築。
- 一方、絶えず受注を取り続ける必要があるフロービジネスであり、ストック化が課題。

- 中長期的な視点に立った相談ベースの提案営業（２～３年先）に注力。
- 営業案件ストックの持続的な維持拡大により、安定的な受注獲得に繋げる。
- 引き続き営業案件ストック残高400億円超を維持していく方針。

営業案件ストック残高

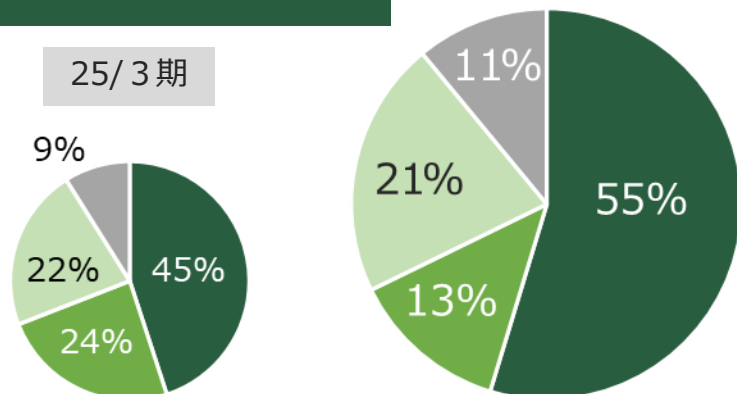
（金額単位：百万円）

	2022/ 3	2023/ 3	2024/ 3	2025/ 3	2025/ 9	前期末比
件数	185	182	206	146	130	▲ 16
金額	41,661	46,263	56,329	59,506	60,165	+659

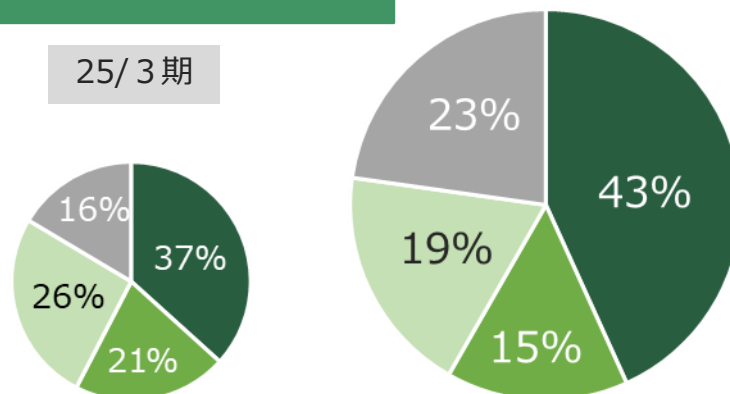
営業先別・請負先別の売上高

- これまでゼネコンが受注していた大型解体案件も、資材価格上昇等の影響から新築と解体の分離発注が進み、デベロッパー、エンドユーザーからの受注が増加。

営業先別売上高



請負先別売上高



(金額単位：百万円)

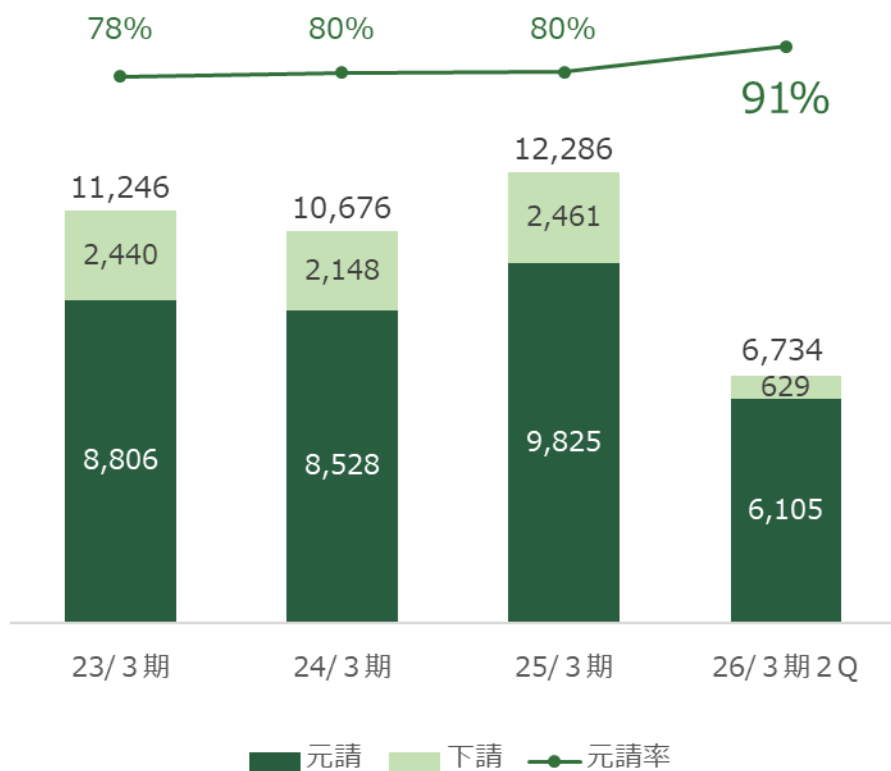
	営業先別売上高				請負先別売上高			
	2023/ 3	2024/ 3	2025/ 3	2025/ 9	2023/ 3	2024/ 3	2025/ 3	2025/ 9
■ デベロッパー	3,951	6,170	5,525	3,682	3,490	1,185	4,510	2,911
■ ゼネコン	2,283	778	2,964	882	2,443	2,159	2,567	1,013
■ エンドユーザー	3,975	3,060	2,700	1,429	4,182	3,875	3,190	1,277
■ 組合等	1,038	668	1,098	741	1,131	3,457	2,020	1,533
合計	11,246	10,676	12,286	6,734	11,246	10,676	12,286	6,734

元請率・リピート顧客率

- リピート顧客は順調に推移。加えて新築と解体の分離発注が進んだことで、信用力と実績のある当社への依頼が増加。元請率は90%を超えた。

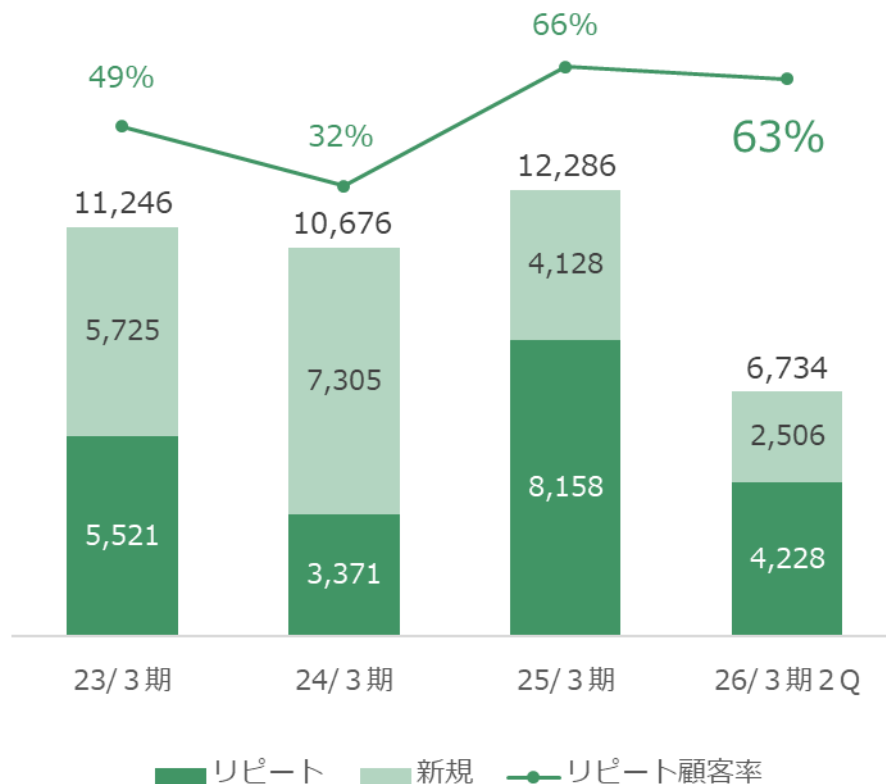
元請率

(金額単位：百万円)



リピート顧客率

(金額単位：百万円)

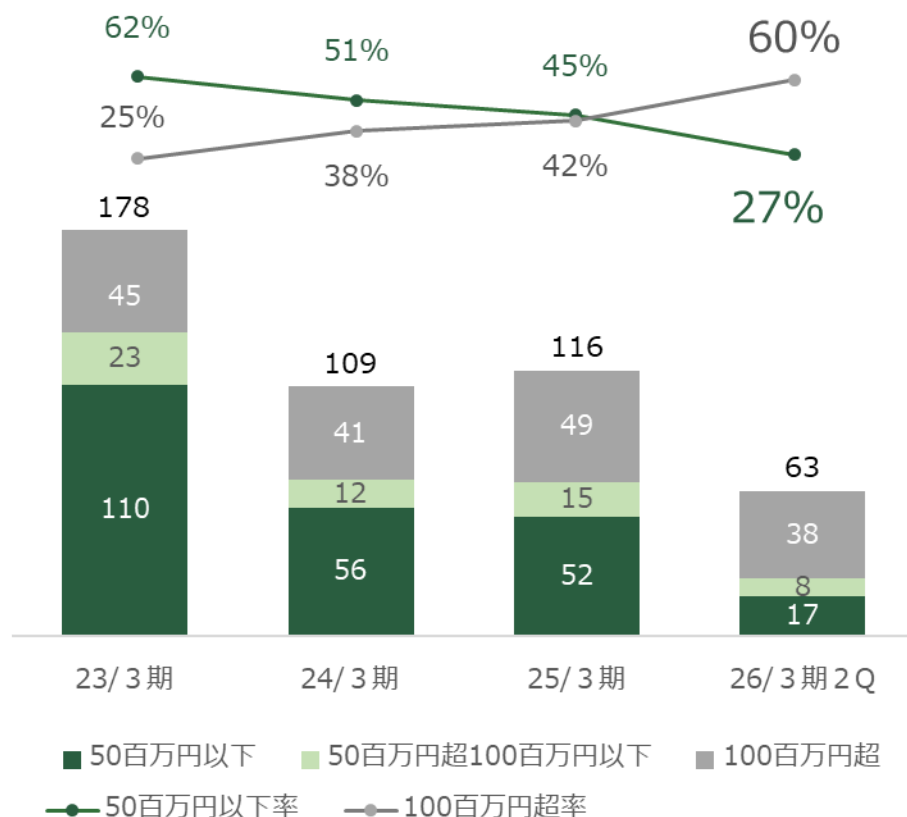


規模別、工期別の工事件数

- 信用力・技術力・良好な財務が評価され、100百万円超の大型工事件数は60%。
- 工事大型化に伴い工期6ヵ月超が70%と長期化が進んでいる。

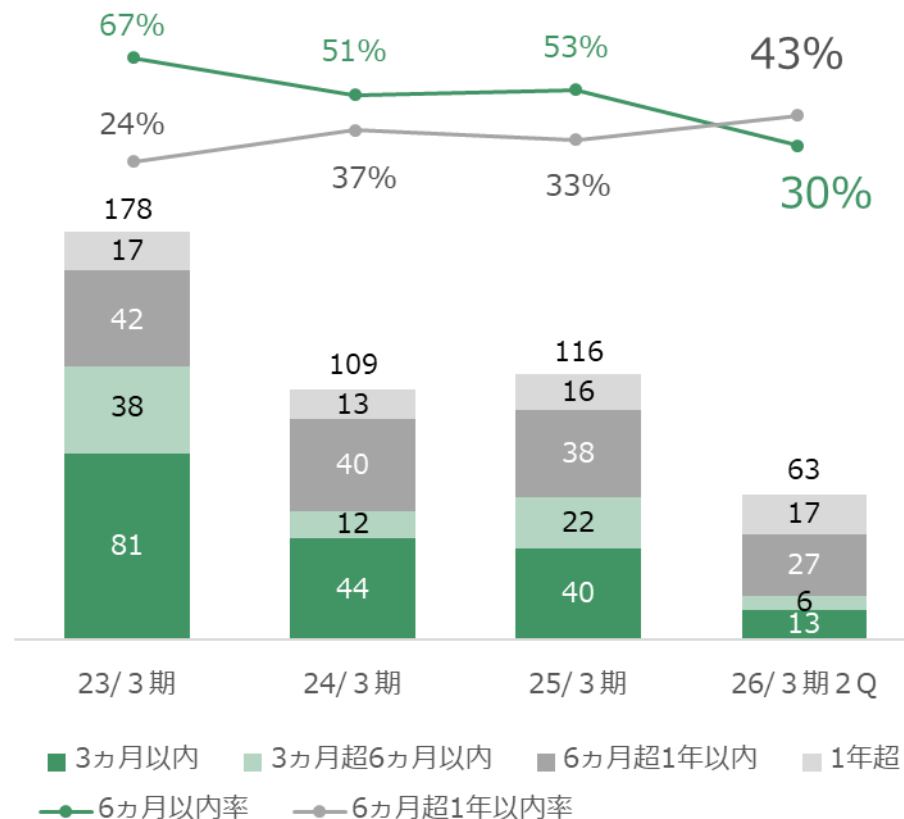
規模別工事件数

(単位：件)



工期別工事件数

(単位：件)



1 会社概要

2

2 2026年3月期 第2四半期実績

6

3 2026年3月期 計画及び進捗状況

14

(中期経営計画/計画概要/営業戦略/主要施策/配当政策)



中期経営計画の概要

- 中期経営計画「TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase（FY2023～2025）」は、10年後を展望した長期ビジョンの実現に向けた「基盤構築のための3カ年計画」。
- 持たざる経営の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化していく方針。

TANAKEN “Vision NEXT 10” における10年後のあるべき姿

- 1 ワンストップのコンサルティング機能を拡充し、将来にわたりお客様から信頼される会社になる
- 2 蓄積したノウハウを有効活用し、開発した技術により環境に配慮した安全施工を実現する
- 3 都市部での再開発・大規模案件を主とする業界のリーディングカンパニーの地位を確実なものにする

TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase の基本方針

「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化する

- 1 TANAKENブランドの価値向上
- 2 人財の量的・質的な充実
- 3 安全施工のための技術開発強化
- 4 アライアンス戦略・DX戦略の拡充
- 5 企業価値向上に寄与するSDGs・ESG経営

Primary Phase

基盤構築

Secondary Phase

成長戦略

Final Phase

業界トップ戦略

TANAKEN “Vision NEXT 10” の3フェーズ

GOAL

2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032

2026/3期 計数計画の進捗状況

- 中期経営計画（「基盤構築のための3ヵ年計画」）の最終年度として、人財、技術、アライアンス等の基盤構築に注力し、各種施策を積極的に進めている。
- 受注環境は堅調に推移しており、売上高は計画進捗率48.1%と概ね順調に推移。前年同期比で減益となったが、利益率は計画を上回り、計画進捗率も50%超。
- 新人事・評価制度が本格稼働。採用チャネル拡大等により採用を強化したこともあり、施工人員は増加に転じた。引き続き計画達成を目指していく。

(金額単位：百万円)

	25/3期 計画	実績	26/3期 計画	修正計画	2Q実績	進捗率
売上高	13,000	12,286	14,000	修正なし	6,734	48.1 %
営業利益	1,600	2,328	1,700		903	53.1 %
経常利益	1,650	2,341	1,750		917	52.4 %
当期利益	1,100	1,576	1,200		573	47.8 %
人 員	123名	102名	160 名	125 名	103 名	82.4 %
うち施工管理	55名	41名	70 名	55 名	44 名	80.0 %

2026/3期 営業施策の進捗状況

＜基本方針＞

中期経営計画を達成するとともに、来期以降に向けて受注の更なる積み上げを図る。

主要施策		進捗状況
1	＜都市再生案件の取込＞ 再開発、商業施設、物流センター、マンション・団地建替等の大規模な都市再生案件を中心に、元請工事案件の受注に注力し、受注拡大を図る。	✓ 信用力、実績が評価され、元請工事案件の受注は順調に推移中。
2	＜顧客基盤の充実＞ デベロッパー、ゼネコン及びエンドユーザー等の既存顧客に加えて、顧客紹介ルートの開拓を強化し、新たな顧客を取り込むことで顧客基盤の更なる拡充を図る。	✓ 信用力、実績が評価され、新規開拓は順調。新築と解体の分離発注の増加により顧客基盤も更に拡充。
3	＜地下関連工事の受注拡大＞ 地下解体関連工事（杭抜き、CD工法、BG工法、地中障害対応、流動化土打設、湧水対策等）の受注に注力。地下部の工事を取り込むことで受注拡大を図る。	✓ プロジェクト全体から検討した顧客目線の適切な提案により、受注は堅調。 ✓ 引き続きアライアンス強化を図る。
4	＜環境改善関連工事の受注＞ 増加が予想される石綿除去、土壌汚染対策工事等について、協力会社と連携して積極対応し、環境改善分野の需要取り込みを図る。	✓ 需要を着実に取り込み、受注は堅調。 ✓ 石綿・土壌等のアライアンス強化中。
5	＜情報管理と人財育成＞ CRMシステムの有効活用により、顧客満足度の向上によるリピート案件の増加、人財育成による営業力強化を図る。また、案件データ管理を強化し、提案力向上を図る。	✓ CRMシステムを有効活用し、顧客満足度が向上。情報収集力も強化。 ✓ 引き続き若手人財育成を図る。

2026/3期 主要施策の進捗状況

主要施策		進捗状況
1	<TANAKENブランドの価値向上> TANAKENブランドの認知拡大と理解浸透のための各施策を実施し、採用、競争力を強化する。	ブランド認知拡大に向け、HPリニューアル、PR戦略を展開中。
2	<人財採用強化> - 新卒、キャリア採用ともに採用チャネルを拡充し、即戦力・次世代社員の採用を強化する。 - 特に施工管理者の採用に注力し、計画達成を目指す。	採用チャネルを拡充し、施工管理者を中心に採用を強化。
3	<人財マネジメント体制強化> - 新人事制度、新評価制度を本格稼働させ、大幅な処遇改善を図る。また、研修制度を拡充する。 - 人事マネジメントシステムの導入検討を進める。	- 新人事制度が本格稼働。研修制度の拡充を進める。 - 新人事システム導入が進行中。
4	<施工管理体制強化> - 大型工事、高難易度工事への対応力を強化した新業務フローを着実に実行し、安全管理を強化。 - TANAKEN安全協力会による安全衛生指導・教育支援の実施、現場支援体制の強化を図る。	- 新業務フロー実施により対応力・安全管理を強化。 - 現場支援体制を強化中。
5	<アライアンスの強化> - 既存協力会社とのパートナーシップ拡充、紹介窓口の拡大による新規開拓強化により、協力会社の増強を図る。 - 施工管理を中心とした資本提携・業務提携等のアライアンスを探索し、検討を進める。	- 既存協力会社、新規協力会社により施工体制を増強中。 - アライアンスの探索、検討中。
6	<技術開発の強化> - 既存工法の更なる安全施工技術の開発、専門業者・専門家との協働による新工法開発を進める。 - 現場ITサポートシステムのレベルアップ、BIM三次元モデルの更なる活用を図る。	大学、専門業者との共同開発、共同研究を実施中。
7	<DX強化> - 社内ネットワーク環境の改善及びセキュリティの強化を図る。 - DX化による業務効率化、ペーパーレス化等により生産性向上を進める。	ネットワーク環境改善、業務効率化とセキュリティ強化を推進。

配当政策

26/3期 配当予定

1株当たり配当金	55円00銭
1株当たり当期純利益	137円95銭
配当総額	478百万円
配当性向	39.9 %

基本方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の最重要目標として位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

配当予定

上記配当方針に則り、予想される業績・純資産を考慮して左記を予定。既に公表している配当予想から変更ありません。



本資料における注意事項

本資料にある内容には、
将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、
実際の業績は様々な重要要素により、
これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください。



IRに関するお問い合わせ先

TANAKEN株式会社 管理本部

TEL：03-6264-5520

受付時間：9:00-17:00（土日祝日及び当社休業日を除く）